

まぼろへのかけはし



基本理念 希望のある医療

摂食嚥下、栄養サポートチームの取り組み

言語聴覚士（日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士） 杉下周平

1. 当院のNSTはS-NST！

当院のNST（栄養管理チーム）は従来の栄養管理の役割に加えて、嚥下機能の評価、治療にも注力しています。それは入院患者の多くが在宅での療養を強く希望しており、その思いを叶えるためには「口から食べる」ことが重要であるからです。我々は「口から食べる」ことを強く意識する決意表明としてチーム名を **Swallowing Nutrition Support Team (S-NST)** としています。

2. 在宅患者のサポート

在宅療養をサポートする目的に嚥下外来を開設しています。そこでは嚥下機能や栄養状態の評価を行い、ご家族や介護スタッフの方に訓練やケアの方法、そして嚥下食の調理指導を行います。

また、集中的なりハビリテーションで状態の改善が見込まれる方には嚥下入院を行っています。

3. 研究活動

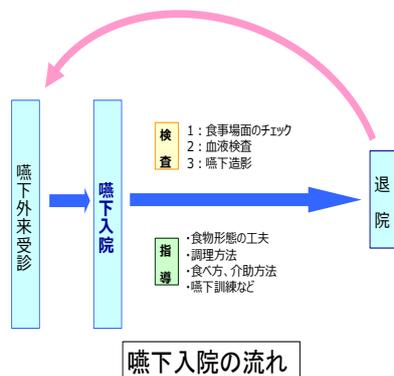
嚥下障害の研究に力を入れています。H27年度には管理栄養士が日本摂食嚥下リハビリテーション学会の奨励賞を受賞しました。嚥下障害の治療機器の開発にも携わり、本年度より干渉波刺激装置による治療を一般診療に取り入れています。

4. 地域貢献として「均霑化（きんていか）」

均霑化とは「雨露が等しく大地を潤す」ことを言います。地域全体で摂食・嚥下障害の知識や技術を共有し、地域全体で同じレベルの医療が提供できることを目指しています。取り組みとして、西兵庫言語・嚥下・栄養研究会を立ち上げ、年2～3回のペースで会を開催しております。看護師らは、嚥下障害患者のケアは生活の場でこそ重要との思いから誤嚥性肺炎の予防に着目し、地域で統一した口腔ケアマニュアルを作成しました。

5. 大切にしていること

嚥下障害の治療において、安全性を追求するのではなく、それが患者にとって過剰にならない“良い医療”が大切だと思っています。我々は、地域の皆様に「高砂に食べることに困った時に相談できる専門病院があってよかった！」と言っていただけるように、これからも努力していきます。



干渉波電気治療機器



S-NST

お問い合わせは、高砂市民病院（079-442-3981）脳神経外科外来にお願い致します。

高砂オープンカンファレンスを開催しました

6月22日(木) 17:30~ 当院2階講義室にて開催しました。
排尿障害でお困りの入院患者さまに、専門的な医療サポートを行う「排尿ケアチーム」を平成29年1月より発足しました。その活動の取り組みについて、泌尿器科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、薬剤師、理学療法士が、講演しました。

蓄尿障害と排尿障害について学び、患者のQOL向上にむけて、活動していることを知ることが出来ました。お忙しい中、多数の御参加ありがとうございました。



お知らせ

1. 7月のホッとひと息寄り道講座

テーマ： 終活について

講師： 司法書士

日時： ①7月10日(月) ②26日(水) 10:00~10:30

場所： 正面玄関ホールの公衆電話前

2. オープンカンファレンス開催のお知らせ

日時： 7月27日(木) 17:30~19:20

場所： 2階講義室

テーマ： **【生活習慣病】**

対象者： 医療職・介護職の方



※地域医療連携室まで申し込みをお願い致します(当日まで可)

3. 生活習慣病予防教室のお知らせ

日時： 7月19日(水) 13:30~15:00

場所： 2階講義室

テーマ： **健康寿命と生活習慣病**

慢性腎臓病予防と健康寿命に向けた生活習慣

※ワンポイント体操がありますので、動きやすい服装でお越し下さい。

筆記用具は各自持参

※お問い合わせは、高砂市民病院(079-442-3981)内科外来にお願い致します

きぼうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33-1

TEL 079-442-3981(内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>

